

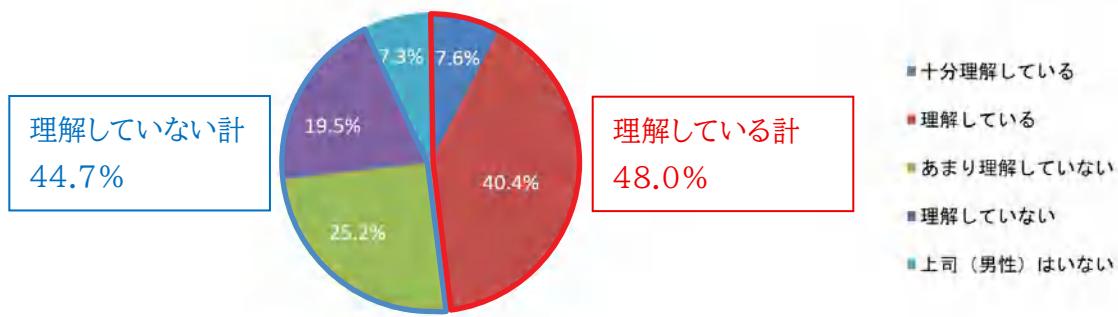
6. 職場の理解及び制度（支援内容）

(1) 職場の理解 上司（男性）

問14. 生理の辛さや悩みについて、上司(男性)は理解していると思いますか。(回答は1つ)

生理の辛さや悩みについて、「十分理解している」は 7.6%、「理解している」は 40.4%で、合わせて 48.0%（理解している計）、「あまり理解していない」は 25.2%、「理解していない」は 19.5%で、合わせて 44.7%（理解していない計）、「上司(男性)はいない」は 7.3%である。

全体(n=317)



【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の4つの項目。

- ・宿泊業、飲食サービス業で「理解している」と答えた方 100.0%
- ・教育、学習支援で「上司(男性)はいない」と答えた方 35.0%
- ・金融業、保険業で「あまり理解していない」と答えた方 45.4%
- ・運輸業、郵便業で「理解していない」と答えた方 42.1%



 全体結果よりも有意に高い 全体結果よりも有意に低い

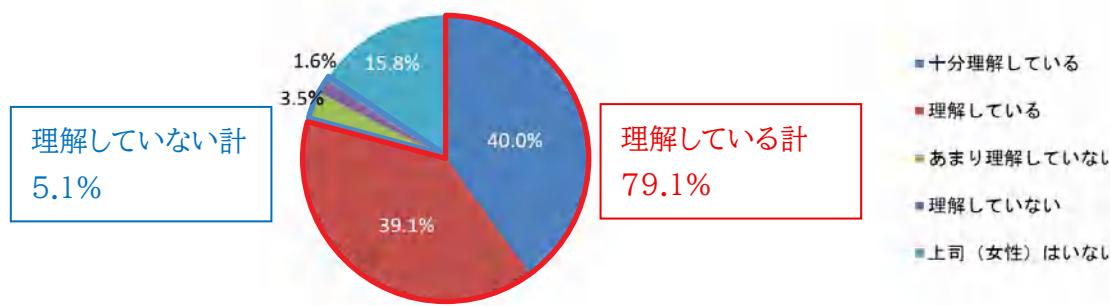
 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(2) 職場の理解 上司(女性)

問15. 生理の辛さや悩みについて、上司(女性)は理解していると思いますか。(回答は1つ)

生理の辛さや悩みについて、「十分理解している」は40.0%、「理解している」は39.1%で、合わせて79.1%(理解している計)、「あまり理解していない」は3.5%、「理解していない」は1.6%で、合わせて5.1%(理解していない計)、「上司(女性)はいない」は15.8%である。

全体(n=317)



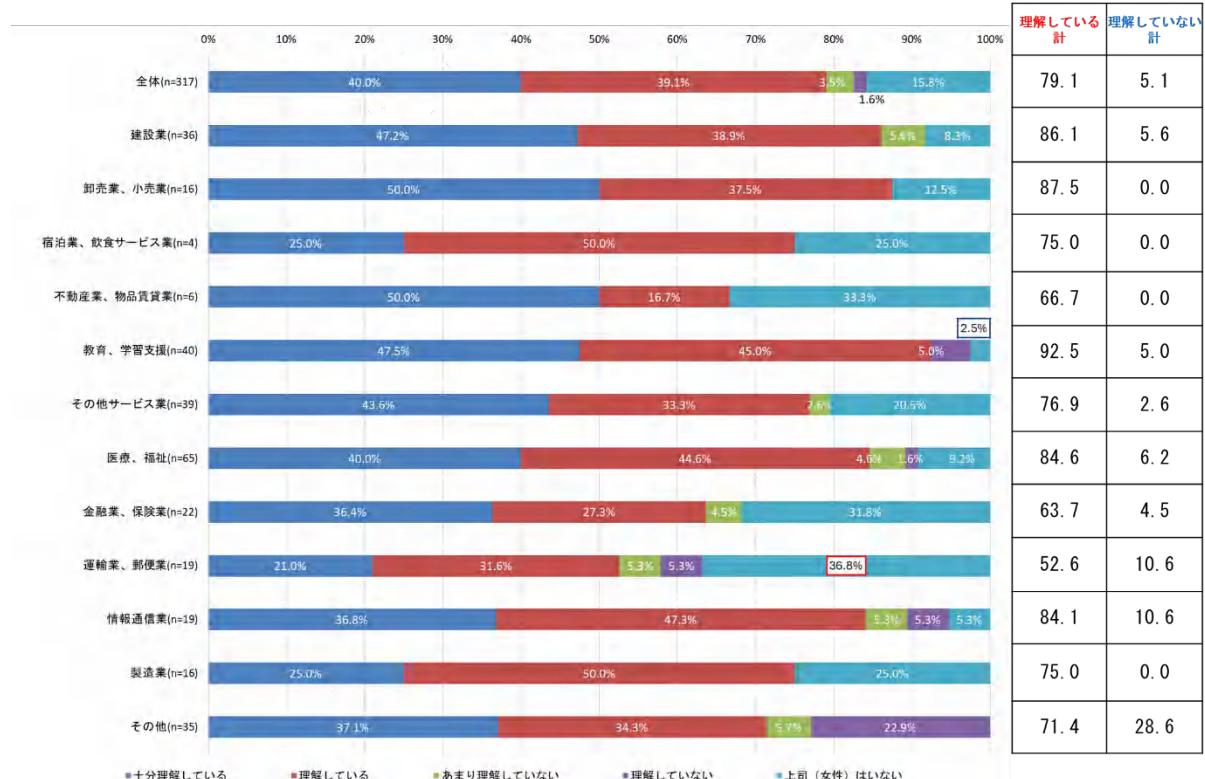
【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の1つの項目。

- ・運輸業、郵便業で「上司(女性)はいない」と答えた方 36.8%

全体結果と比べて有意に低かったのは以下の1つの項目。

- ・教育、学習支援で「上司(女性)はいない」と答えた方 2.5%



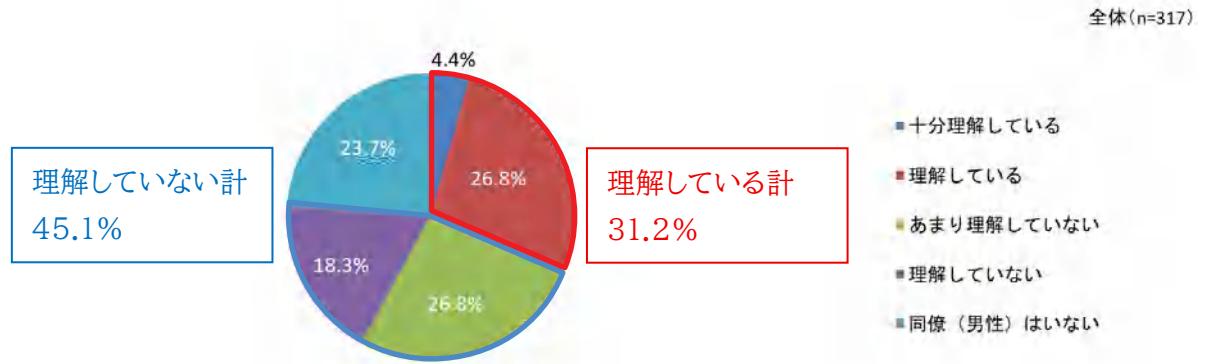
 全体結果よりも有意に高い 全体結果よりも有意に低い

 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(3) 職場の理解 同僚(男性)

問16. 生理の辛さや悩みについて、同僚(男性)は理解していると思いますか。(回答は1つ)

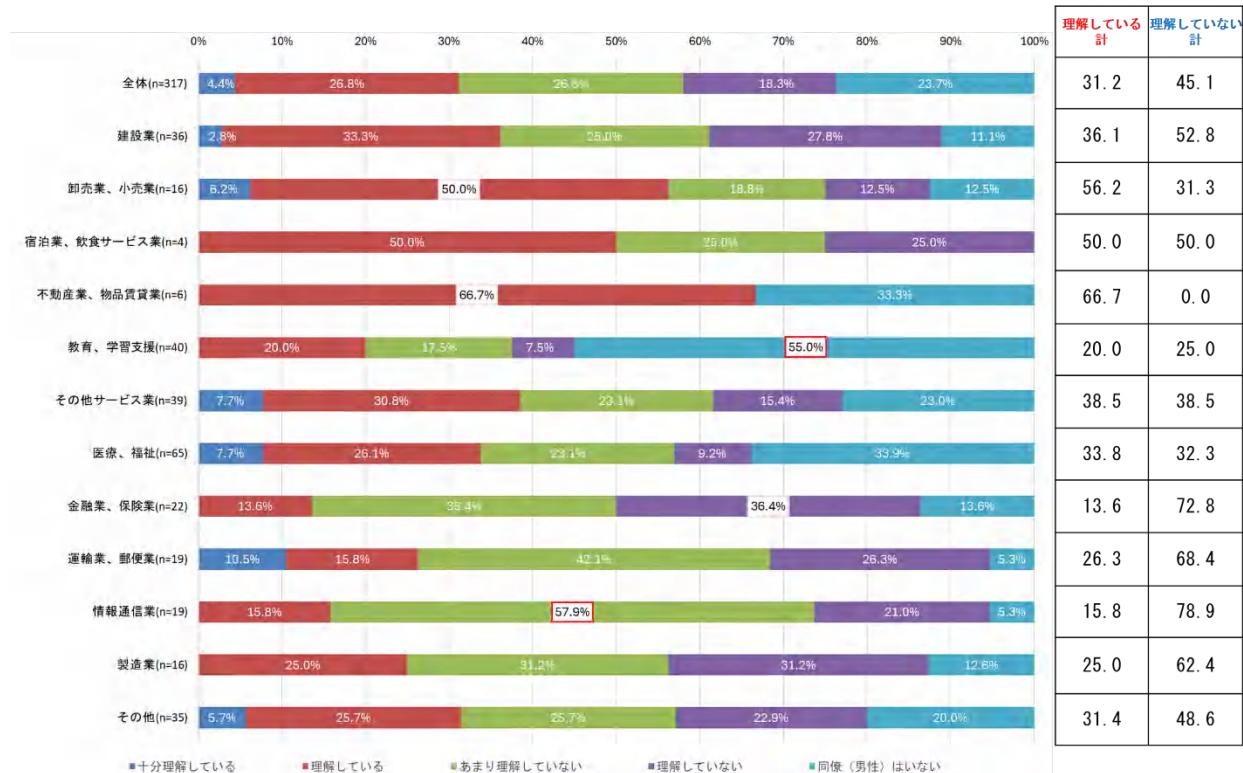
生理の辛さや悩みについて、「十分理解している」は4.4%、「理解している」は26.8%で、合わせて31.2%(理解している計)、「あまり理解していない」は26.8%、「理解していない」は18.3%で、合わせて45.1%(理解していない計)、「同僚(男性)はいない」は23.7%である。



【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の2つの項目。

- ・教育、学習支援で「同僚(男性)はいない」と答えた方 55.0%
- ・情報通信業で「あまり理解していない」と答えた方 57.9%



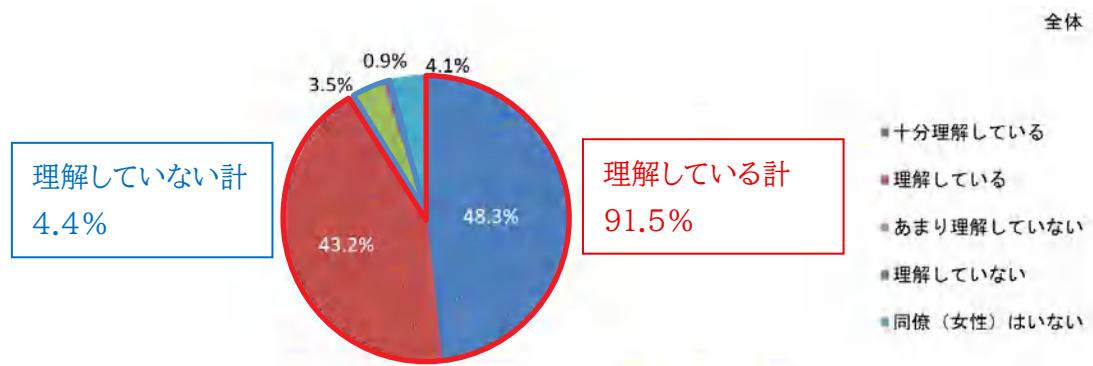
全体結果よりも有意に高い 全体結果よりも有意に低い

参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(4) 職場の理解 同僚(女性)

問17. 生理の辛さや悩みについて、同僚(女性)は理解していると思いますか。(回答は1つ)

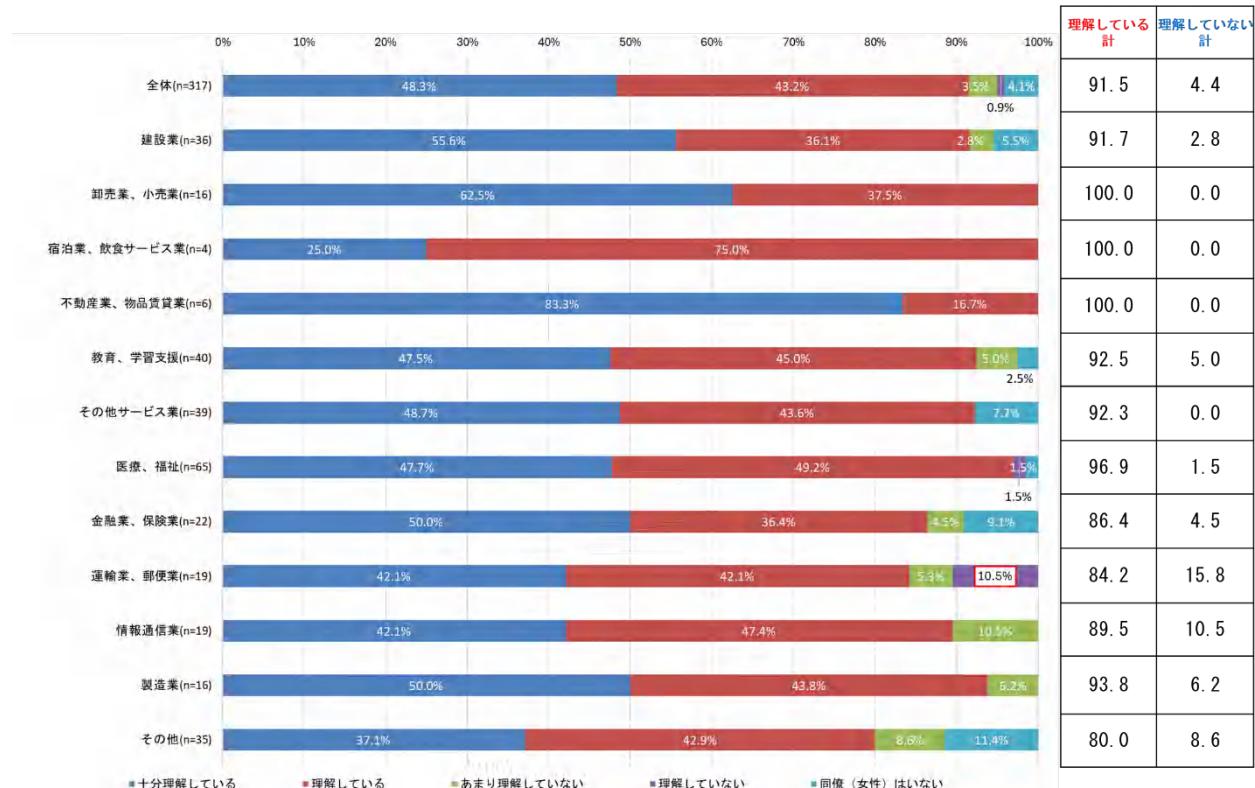
生理の辛さや悩みについて、「十分理解している」は48.3%、「理解している」は43.2%で、合わせて91.5%(理解している計)、「あまり理解していない」は3.5%、「理解していない」は0.9%で、合わせて4.4%(理解していない計)、「同僚(女性)はいない」は4.1%である。



【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の1つの項目。

- ・運輸業、郵便業で「理解していない」と答えた方 10.5%



 全体結果よりも有意に高い 全体結果よりも有意に低い

 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

職場の理解 結果まとめ

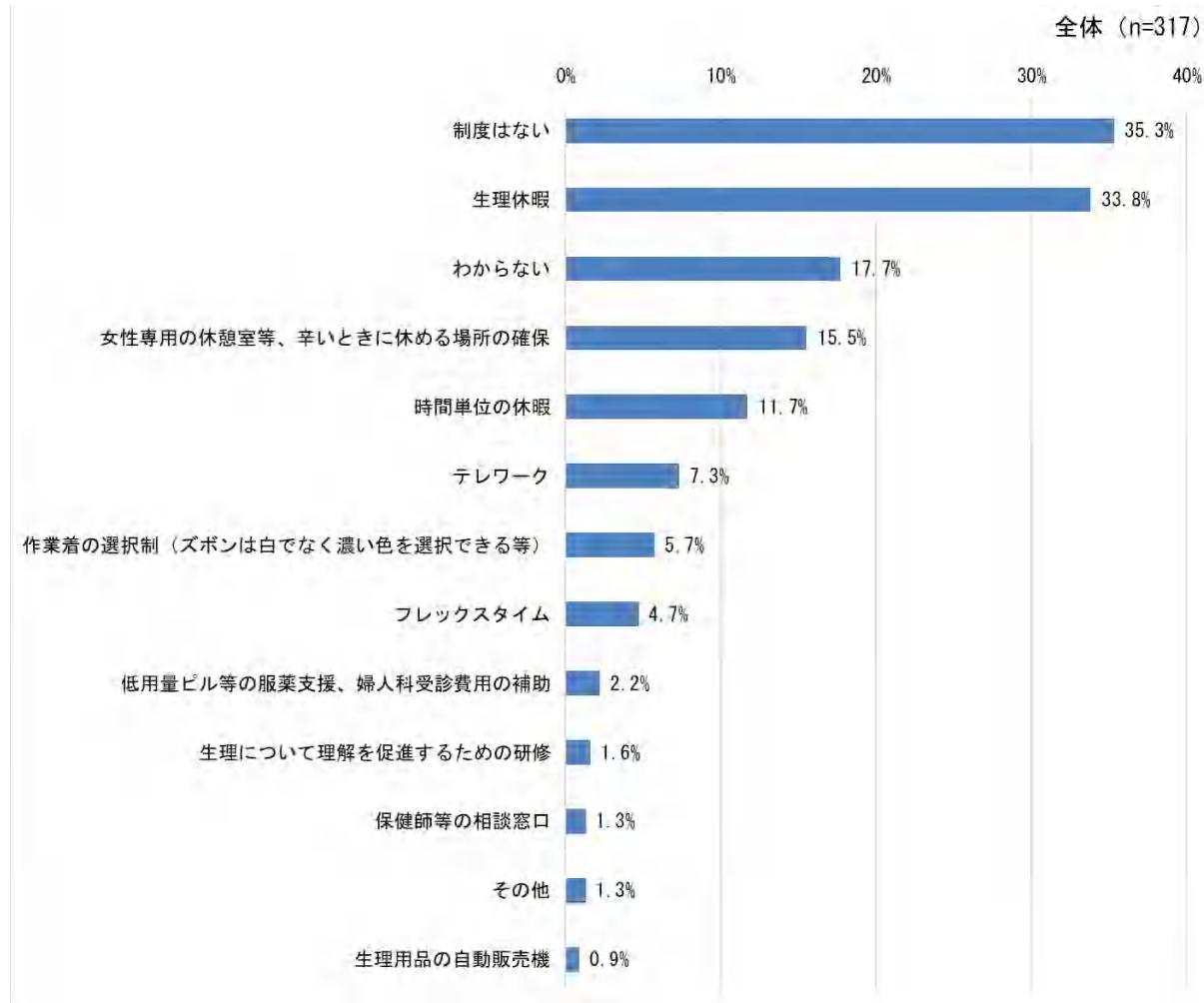
	グラフ	理解している 計	理解していない 計	対象がいない ・無回答計												
上司 (男性)	<p>全体(n=317)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解している</td> <td>40.4%</td> </tr> <tr> <td>理解していない</td> <td>25.2%</td> </tr> <tr> <td>上司（男性）はいない</td> <td>19.5%</td> </tr> <tr> <td>十分理解している</td> <td>7.6%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解していない</td> <td>7.3%</td> </tr> </tbody> </table>	理解度	割合	理解している	40.4%	理解していない	25.2%	上司（男性）はいない	19.5%	十分理解している	7.6%	あまり理解していない	7.3%	48.0%	44.7%	7.3%
理解度	割合															
理解している	40.4%															
理解していない	25.2%															
上司（男性）はいない	19.5%															
十分理解している	7.6%															
あまり理解していない	7.3%															
上司 (女性)	<p>全体(n=317)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解している</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>理解していない</td> <td>39.1%</td> </tr> <tr> <td>上司（女性）はいない</td> <td>15.8%</td> </tr> <tr> <td>十分理解している</td> <td>3.5%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解していない</td> <td>1.6%</td> </tr> </tbody> </table>	理解度	割合	理解している	40.0%	理解していない	39.1%	上司（女性）はいない	15.8%	十分理解している	3.5%	あまり理解していない	1.6%	79.1%	5.1%	15.8%
理解度	割合															
理解している	40.0%															
理解していない	39.1%															
上司（女性）はいない	15.8%															
十分理解している	3.5%															
あまり理解していない	1.6%															
同僚 (男性)	<p>全体(n=317)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解している</td> <td>26.8%</td> </tr> <tr> <td>理解していない</td> <td>26.8%</td> </tr> <tr> <td>同僚（男性）はいない</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td>十分理解している</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解していない</td> <td>4.4%</td> </tr> </tbody> </table>	理解度	割合	理解している	26.8%	理解していない	26.8%	同僚（男性）はいない	23.7%	十分理解している	18.3%	あまり理解していない	4.4%	31.2%	45.1%	23.7%
理解度	割合															
理解している	26.8%															
理解していない	26.8%															
同僚（男性）はいない	23.7%															
十分理解している	18.3%															
あまり理解していない	4.4%															
同僚 (女性)	<p>全体(n=317)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解している</td> <td>48.3%</td> </tr> <tr> <td>理解していない</td> <td>43.2%</td> </tr> <tr> <td>同僚（女性）はいない</td> <td>4.1%</td> </tr> <tr> <td>十分理解している</td> <td>3.5%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解していない</td> <td>0.9%</td> </tr> </tbody> </table>	理解度	割合	理解している	48.3%	理解していない	43.2%	同僚（女性）はいない	4.1%	十分理解している	3.5%	あまり理解していない	0.9%	91.5%	4.4%	4.1%
理解度	割合															
理解している	48.3%															
理解していない	43.2%															
同僚（女性）はいない	4.1%															
十分理解している	3.5%															
あまり理解していない	0.9%															

(5) 職場にある制度や支援策など

問18.

生理の症状に対処するための、職場にある制度や支援策などを選択してください。
(回答はいくつでも)

「制度はない」が35.3%で最多、次に「生理休暇」が33.8%、その次に「わからない」が17.7%である。



「その他」の主な回答

- ・使用的する風土が無い。更衣室に長椅子があり、横になることは可能。時間単位の休暇も生理用ではない。男性でも取得可能な時間有給休暇がある。
- ・制度はないが、通常スカートの制服を自前ズボンに変更することは可能で実際ズボンの女性職員が多数いる。
- ・有給や振休を使って自分の希望で休みや半休を取ることができる。
- ・会社のトイレに先輩女性社員の方が生理用品を無償で置いてくれている。

【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の 7 つの項目。

- ・教育、学習支援で「制度はない」と答えた方 52.5%
- ・その他サービス業で「時間単位の休暇」と答えた方 25.6%
- ・金融業、保険業で「わからない」と答えた方 36.4%
- ・運輸業、郵便業で「フレックスタイム」と答えた方 15.8%
- ・運輸業、郵便業で「生理休暇」と答えた方 68.4%
- ・情報通信業で「保健師等の相談窓口」と答えた方 36.8%
- ・情報通信業で「テレワーク」と答えた方 21.1%

全体結果と比べて有意に低かったのは以下の 2 つの項目。

- ・医療、福祉で「生理休暇」と答えた方 12.3%
- ・金融業、保険業で「制度はない」と答えた方 4.5%

	生理について理解を促進するための研修	女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保	作業着の選択制（ズボンは白でなく濃い色を選択できる等）	保健師等の相談窓口	テレワーク	フレックスタイム	時間単位の休暇	生理休暇	生理用品の自動販売機	低用量ピル等の服薬支援、婦人科受診費用の補助	その他	わからない	制度はない
単位(%)													
全体(n=317)	1.6	15.5	5.7	3.5	6.3	3.5	11.7	33.8	0.9	2.2	1.3	17.7	35.3
建設業(n=36)	2.8	13.9	2.8	0.0	5.6	5.6	2.8	50.0	0.0	5.6	2.8	13.9	27.8
卸売業、小売業(n=16)	6.2	18.8	18.8	0	6.2	6.2	6.2	31.2	0	0	0	12.5	31.2
宿泊業、飲食サービス業(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
不動産業、物品販賣業(n=6)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
教育、学習支援(n=40)	0.0	10.0	12.5	5.0	0.0	0.0	12.5	20.0	0.0	0.0	2.5	20.0	52.5
その他サービス業(n=39)	0.0	17.9	0.0	5.1	5.1	2.6	25.6	35.9	0.0	2.6	2.6	17.9	38.5
医療、福祉(n=65)	1.5	15.4	6.2	0	4.6	3.1	6.2	12.3	1.5	4.6	0	16.9	46.2
金融業、保険業(n=22)	0.0	18.2	4.5	0.0	9.1	0.0	9.1	40.9	0.0	0.0	0.0	36.4	4.5
運輸業、郵便業(n=19)	5.3	26.3	10.5	0.0	15.8	15.8	21.1	68.4	5.3	0.0	5.3	0.0	15.8
情報通信業(n=19)	0.0	15.8	0.0	36.8	21.1	0.0	10.5	31.6	5.3	0.0	0.0	26.3	21.1
製造業(n=16)	0.0	18.8	6.2	0.0	0.0	0.0	12.5	31.2	0.0	0.0	0.0	18.8	43.8
その他(n=35)	2.9	11.4	2.9	0.0	8.6	5.7	17.1	51.4	0.0	2.9	0.0	14.3	31.4

■ 全体結果よりも有意に高い

■ 全体結果よりも有意に低い

■ 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

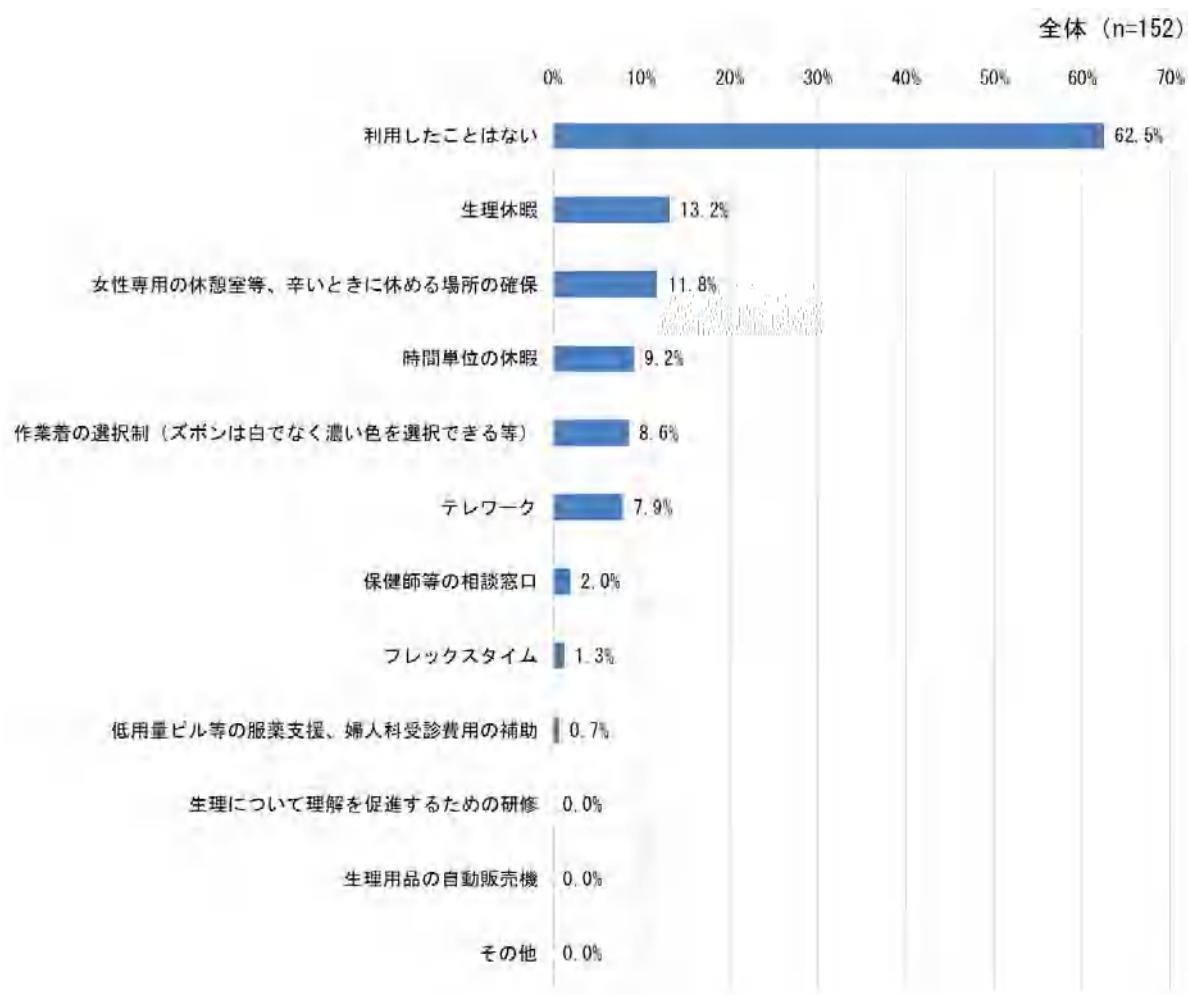
(6) 利用したことがある職場の制度や支援策など

«問18で⑫⑬選択以外»

問18-1.

利用したことがある、生理の症状に対処するための職場の制度や支援策について選択ください。(回答はいくつでも)

「利用したことない」が 62.5%で最多、次に「生理休暇」が 13.2%、その次に「女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保」が 11.8%である。



【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の5つの項目。

- ・建設業で「利用したことはない」と答えた方 90.5%
- ・教育、学習支援で「作業着の選択制(ズボンは白でなく濃い色を選択できる等)」と答えた方 38.5%
- ・その他サービス業で「保健師等の相談窓口」と答えた方 10.5%
- ・情報通信業で「テレワーク」と答えた方 46.1%
- ・製造業で「生理休暇」と答えた方 44.4%

全体結果と比べて有意に低かったのは以下の1つの項目。

- ・製造業で「利用したことはない」と答えた方 0.0%

業種	生理について理解を促進するための研修	女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保	作業着の選択制(ズボンは白でなく濃い色を選択できる等)	保健師等の相談窓口	テレワーク	フレックスタイム	時間単位の休暇	生理休暇	生理用品の自動販売機	低用量ピル等の服薬支援、婦人科受診費用の補助	その他	利用したことない
												単位(%)
全体(n=152)	0.0	11.8	8.6	2.0	7.9	1.3	9.2	13.2	0.0	0.7	0.0	62.5
建設業(n=21)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	90.5
卸売業、小売業(n=9)	0.0	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	41.7
宿泊業、飲食サービス業(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
不動産業、物品賃貸業(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
教育、学習支援(n=13)	0.0	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8
その他サービス業(n=17)	0.0	10.5	0.0	10.5	0.0	0.0	10.5	15.8	0.0	0.0	0.0	52.6
医療、福祉(n=24)	0.0	21.4	10.7	0.0	7.1	0.0	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	50.0
金融業、保険業(n=13)	0.0	11.1	5.6	5.6	5.6	0.0	5.6	16.6	0.0	0.0	0.0	50.0
運輸業、郵便業(n=16)	0.0	0.0	10.5	0.0	10.5	5.3	10.5	10.5	0.0	0.0	0.0	52.6
情報通信業(n=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	46.1	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8
製造業(n=6)	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(n=20)	0.0	8.6	0.0	0.0	4.4	0.0	8.7	13.0	0.0	4.4	0.0	60.9

全体結果よりも有意に高い

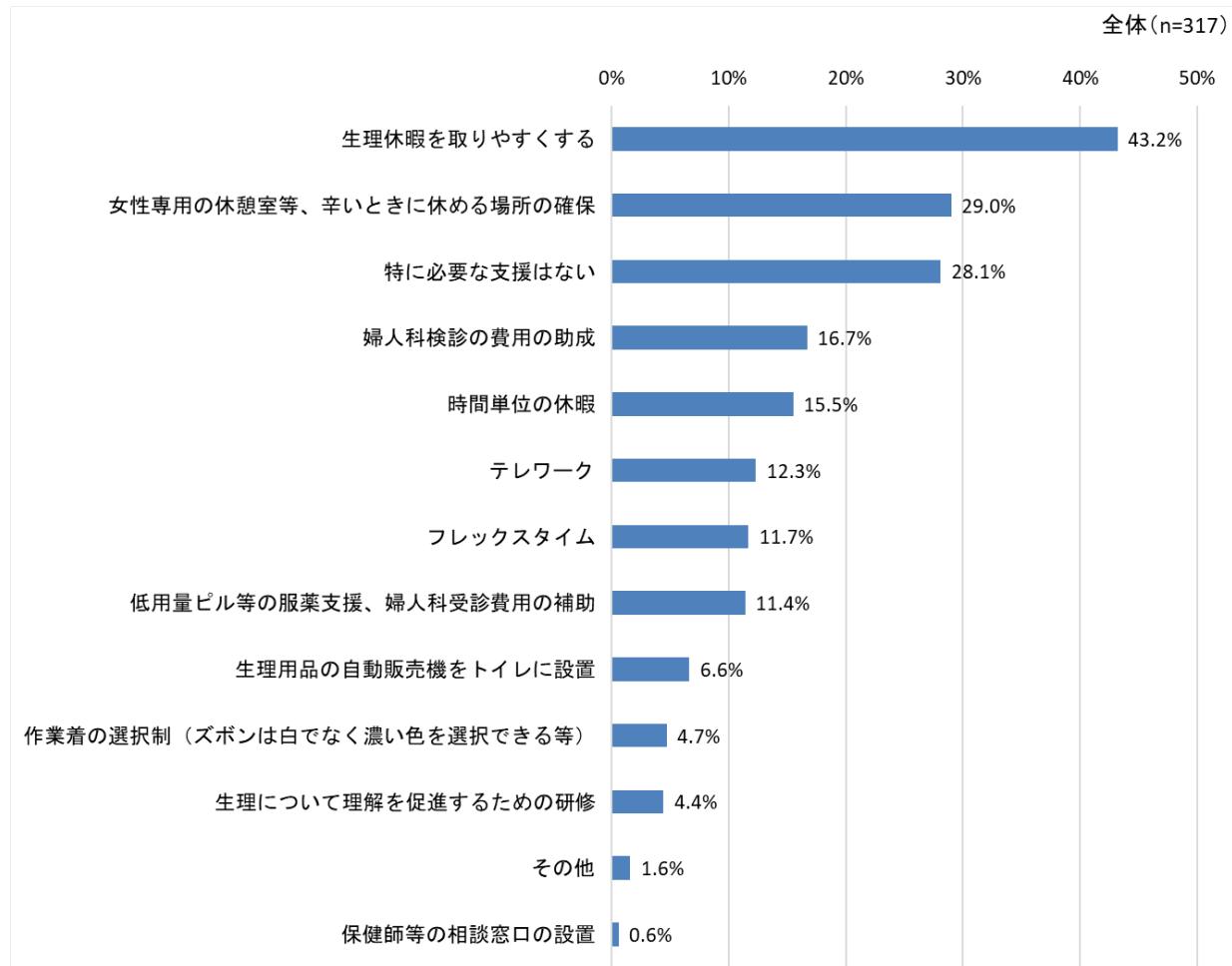
全体結果よりも有意に低い

参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(7) 職場に求める制度や支援策など

問19. 職場に求める制度や支援策などがあれば選択ください。(回答はいくつでも)

「生理休暇を取りやすくする」が43.2%で最多、次に「女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保」が29.0%、その次に「特に必要な支援はない」が28.1%である。



「その他」の主な回答

- ・女性専用の更衣室、その中にトイレが欲しい。
- ・制度があっても取りやすい環境に無ければ意味がない。取っても仕事に影響の出ないような環境が作れるといいと思う。男性と同じような技術職だと難しい。
- ・男性職員と外出(長時間の移動)をする際にトイレに立ち寄って欲しいと言い出しにくいため、外出時の休憩時間等にも規程のようなものがあればいいなと思う。
- ・薬を服用する時間、お手洗い、ナプキンを交換する時間の確保、体調をお互いに(男女問わず)確認する事。

【業種別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の 6 つの項目。

- ・宿泊業、飲食サービス業で「フレックスタイム」と答えた方 50.0%
- ・宿泊業、飲食サービス業で「生理休暇を取りやすくする」と答えた方 100.0%
- ・運輸業、郵便業で「生理について理解を促進するための研修」と答えた方 21.1%
- ・情報通信業で「生理について理解を促進するための研修」と答えた方 15.8%
- ・情報通信業で「保健師等の相談窓口の設置」と答えた方 5.3%
- ・情報通信業で「テレワーク」と答えた方 26.3%

全体結果と比べて有意に低かったのは以下の 4 つの項目。

- ・医療、福祉で「テレワーク」と答えた方 3.1%
- ・金融業、保険業で「フレックスタイム」と答えた方 0.0%
- ・製造業で「時間単位の休暇」と答えた方 0.0%
- ・その他で「特に必要な支援はない」と答えた方 14.3%

	生理について理解を促進するための研修	女性専用の休憩室等、辛いときに休める場所の確保	作業着の選択制（ズボンは白でなく濃い色を選択できる等）	保健師等の相談窓口の設置	テレワーク	フレックスタイム	時間単位の休暇	生理休暇を取りやすくする	生理用品の自動販売機をトイレに設置	低用量ピル等の服薬支援、婦人科受診費用の補助	婦人科検診の費用の助成	その他	特に必要な支援はない	
業種	単位(%)													
	全体(n=317)	4.4	29.0	4.7	0.6	12.3	11.7	15.5	43.2	6.6	11.4	16.7	1.6	28.1
	建設業(n=36)	8.3	30.6	8.3	0.0	22.2	16.7	5.6	33.3	0.0	8.3	16.7	2.8	38.9
	卸売業、小売業(n=16)	0.0	31.2	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	43.8	0.0	0.0	6.2	0.0	25.0
	宿泊業、飲食サービス業(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	不動産業、物品賃貸業(n=6)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	教育、学習支援(n=40)	2.5	27.5	0.0	0.0	2.5	20.0	17.5	42.5	12.5	20.0	17.5	0.0	30.0
	医療、福祉(n=65)	0.0	26.2	9.2	0.0	3.1	4.6	13.8	46.2	6.2	15.4	21.5	1.5	32.3
	金融業、保険業(n=22)	0.0	36.4	4.5	0.0	9.1	0.0	22.7	50.0	4.5	18.2	13.6	4.5	22.7
	運輸業、郵便業(n=19)	21.1	36.8	5.3	0.0	10.5	10.5	10.5	47.4	15.8	5.3	15.8	0.0	15.8
	情報通信業(n=19)	15.8	21.1	0.0	5.3	26.3	15.8	15.8	47.4	10.5	5.3	26.3	0.0	26.3
	製造業(n=16)	0.0	37.5	12.5	0.0	18.8	12.5	0.0	43.8	6.2	6.2	6.2	0.0	37.5
	その他(n=35)	5.7	28.6	0.0	2.9	17.1	8.6	25.7	42.9	11.4	11.4	14.3	2.9	14.3

■ 全体結果よりも有意に高い

■ 全体結果よりも有意に低い

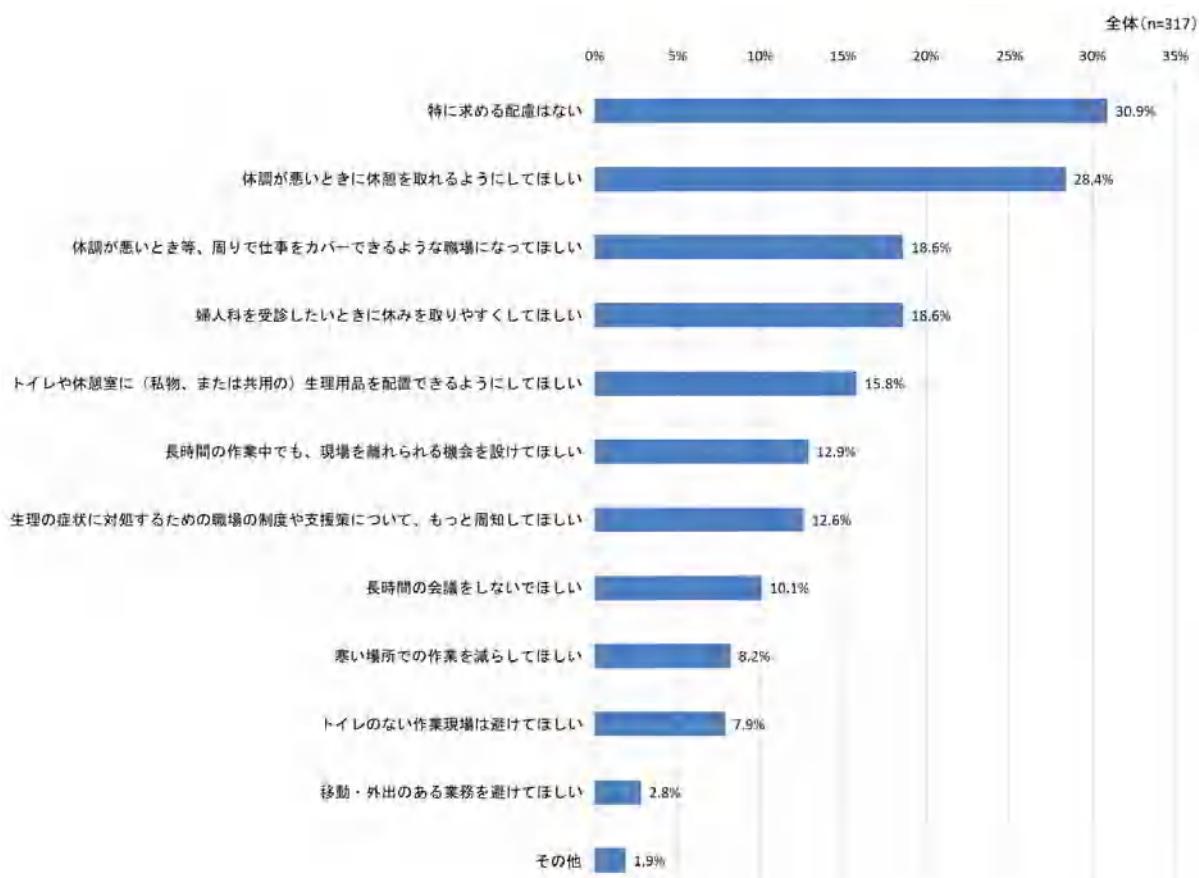
■ 参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(8) 【職場環境・業務内容】今後職場に求める配慮

問20.

【職場環境・業務内容】に関して、今後職場に求める配慮があれば選択ください。
(回答はいくつでも)

「特に求める配慮はない」が 30.9%で最多、次に「体調が悪いときに休憩をとれるようにしてほしい」が 28.4%、その次に「体調が悪いとき等、周りで仕事をカバーできるような職場になってほしい」「婦人科を受診したいときに休みを取りやすくしてほしい」が 18.6%である。



「その他」の主な回答

- ・2時間以上客先で話す上司がいたときは困った。
- ・婦人科受診に限らず、その他体調、子育て等の急な早退や休み、天災等の配慮が全く足りない。
- ・女性専用のトイレ設置をしてほしい。
- ・男性職員と外出(長時間の移動)をする際にトイレに立ち寄って欲しいと言い出しにくいため、外出時の休憩時間等にも規程のようなものがあればいいなと思う。
- ・産婦人科受診費用の補助。

【業務内容別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の 6 つの項目。

- ・サービス職で「体調が悪いときに休憩を取れるようにしてほしい」と答えた方 45.2%
- ・生産工程で「体調が悪いときに休憩を取れるようにしてほしい」と答えた方 100.0%
- ・建設・採掘で「寒い場所での作業を減らしてほしい」と答えた方 33.3%
- ・建設・採掘で「トイレのない作業現場は避けてほしい」と答えた方 33.3%
- ・建設・採掘で「体調が悪いとき等、周りで仕事をカバーできるような職場になってほしい」と答えた方 66.7%
- ・管理職で「寒い場所での作業を減らしてほしい」と答えた方 27.3%

		生理の症状に対処するための職場の制度や支援策について、もっと周知してほしい	長時間の会議をしないでほしい	長時間の作業中でも、現場を離れられる機会を設けてほしい	寒い場所での作業を減らしてほしい	トイレのない作業現場は避けてほしい	移動・外出のある業務を避けてほしい	体調が悪いときに休憩を取れるようにしてほしい	体調が悪いとき等、周りで仕事をカバーできるような職場になつてほしい	トイレや休憩室に（私物、または共用の）生理用品を配置できるようにしてほしい	婦人科を受診したいときに休みを取りやすくしてほしい	その他	特に求める配慮はない
	全体(n=317)	12.6	10.1	12.9	8.2	7.9	2.8	29.0	18.6	15.8	18.6	1.9	30.9
業務内容	事務職(n=151)	12.6	9.9	10.6	6.6	6.6	3.3	30.5	19.9	17.2	11.9	2.6	31.8
	営業職(n=7)	0.0	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3
	販売職(n=12)	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3
	サービス職(n=42)	7.1	4.8	9.5	9.5	14.3	7.1	45.2	21.4	11.9	23.8	0.0	31.0
	保安職(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	生産工程(n=3)	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	100.0	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0
	輸送・機械・運転(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	運搬・清掃・包装等(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	建設・採掘(n=6)	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	66.7	16.7	50.0	0.0	16.7
	管理職(n=11)	18.2	27.3	9.1	27.3	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	45.5
	その他(n=81)	14.8	8.6	17.3	3.7	4.9	0.0	19.8	12.3	19.8	24.7	1.2	28.4

■ 全体結果よりも有意に高い

■ 全体結果よりも有意に低い

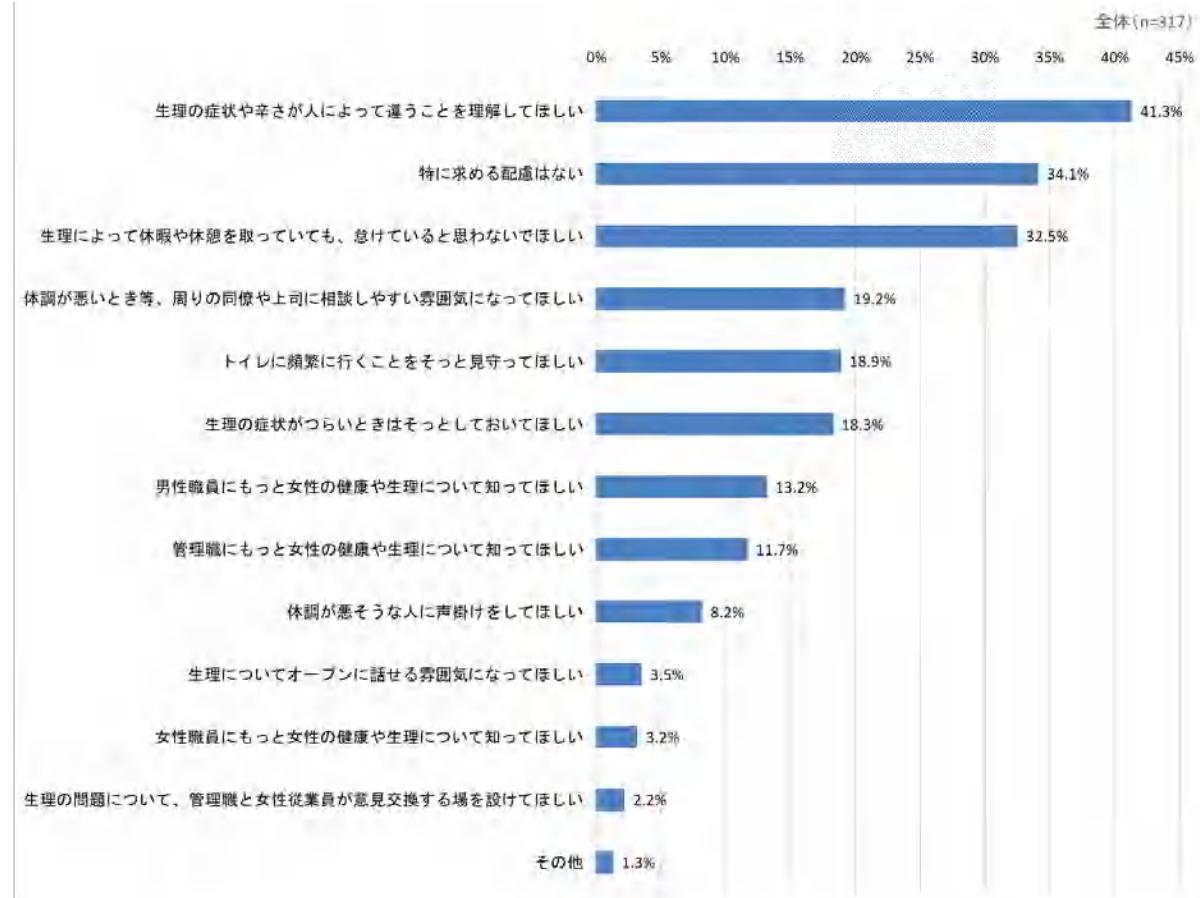
参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(9) 【意識面】今後職場に求める配慮

問 21.

【意識面】に関して、今後職場に求める配慮があれば選択ください。（回答はいくつでも）

「生理の症状や辛さが人によって違うことを理解してほしい」が41.3%で最多、次に「特に求める配慮はない」が34.1%、その次に「生理によって休暇や休憩を取っていても、怠けていると思わないでほしい」が32.5%である。



「その他」の主な回答

- ・ウェルネス休暇という制度があるが、本社や規模が大きい支店は、社員同士（性別関係なく）で理解を得ていて休暇が取りやすいそうだ。北九州はまだ考えが古いように感じことが多い。柔軟に対応できる職場環境になればいいなと思う。

【業務内容別の集計】

全体結果と比べて有意に高かったのは以下の 8 つの項目。

- ・営業職で「男性職員にもっと女性の健康や生理について知ってほしい」と答えた方 42.9%
- ・生産工程で「生理についてオープンに話せる雰囲気になってほしい」と答えた方 66.7%
- ・生産工程で「生理によって休暇や休憩を取っていても、怠けていると思わないでほしい」と答えた方 100.0%
- ・建設・採掘で「管理職にもっと女性の健康や生理について知ってほしい」と答えた方 50.0%
- ・建設・採掘で「男性職員にもっと女性の健康や生理について知ってほしい」と答えた方 50.0%
- ・建設・採掘で「女性職員にもっと女性の健康や生理について知ってほしい」と答えた方 33.3%
- ・建設・採掘で「生理についてオープンに話せる雰囲気になってほしい」と答えた方 33.3%
- ・建設・採掘で「生理の症状がつらいときはそっとしておいてほしい」と答えた方 66.7%

全体結果と比べて有意に低かった項目は以下の 2 つの項目。

- ・その他で「管理職にもっと女性の健康や生理について知ってほしい」と答えた方 3.7%
- ・その他で「男性職員にもっと女性の健康や生理について知ってほしい」と答えた方 2.5%

	生理の症状や辛さが人によつて違うことを理解してほしい	管理職にもっと女性の健康や生理について知つてほしい	男性職員にもっと女性の健康や生理について知つてほしい	女性職員にもっと女性の健康や生理について知つてほしい	体調が悪いとき等、周りの同僚や上司に相談しやすい雰囲気になつてほしい	生理についてオープンに話せる雰囲気になつてほしい	生理の問題について、管理職と女性従業員が意見交換する場を設けてほしい	体調が悪そうな人に声掛けをしてほしい	生理の症状がつらいときはそっとしておいてほしい	トイレに頻繁に行くことをそつと見守つてほしい	生理によって休暇や休憩を取つても、怠けていると思わないでほしい	その他	特に求める配慮はない	
	単位(%)													
	全体(n=317)	41.3	11.7	13.2	3.2	19.2	3.5	2.2	8.2	18.3	18.9	32.8	1.3	34.1
業務内容	事務職(n=151)	45.0	15.9	16.6	3.3	17.9	2.0	2.0	7.9	20.5	21.2	34.4	2.0	29.1
	営業職(n=7)	28.6	14.3	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	28.6
	販売職(n=12)	33.3	0.0	8.3	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	16.7	25.0	33.3	0.0	25.0
	サービス職(n=42)	40.5	9.5	11.9	0.0	23.8	4.8	0.0	9.5	16.7	11.9	31.0	0.0	38.1
	保安職(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	生産工程(n=3)	100.0	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0
	輸送・機械・運転(n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	運搬・清掃・包装等(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	建設・採掘(n=6)	83.3	50.0	50.0	33.3	50.0	33.3	16.7	16.7	66.7	33.3	50.0	16.7	0.0
	管理職(n=11)	27.3	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	27.3	0.0	63.6
	その他(n=81)	34.6	3.7	2.5	2.5	17.3	2.5	1.2	7.4	12.3	17.3	29.6	0.0	40.7

■ 全体結果よりも有意に高い

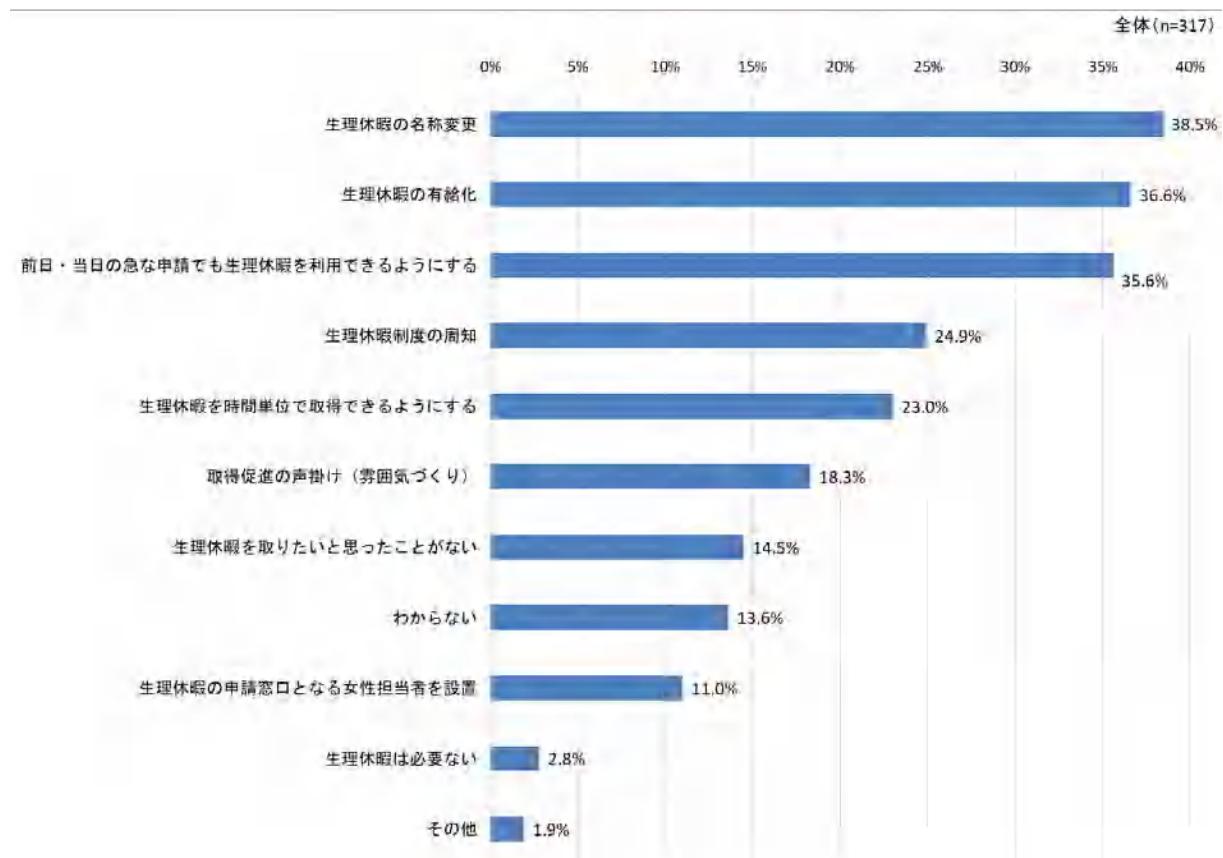
■ 全体結果よりも有意に低い

参考値(Z検定では有意差あり、Fisher検定では有意差なし)

(10) 生理休暇を取りやすくするには

問22. どうすれば生理休暇が取りやすくなると思いますか。(回答はいくつでも)

「生理休暇の名称変更」が38.5%で最多、次に「生理休暇の有給化」が36.6%、その次に「前日・当日の急な申請でも生理休暇を利用できるようにする」が35.6%である。



「その他」の主な回答

- ・女性しか使えないから使いにくい。罪悪感が生まれると思う。
- ・休日との振替でもいいので特に症状のひどい日(漏れなどある日)だけでも休ませてほしい。
- ・「体調不良」として年次休暇(有給)でとった。「生理休暇」というと、恥ずかしいし、男性にしてみれば「ズるい」という事になるかもしれない。「年次休暇(有給)」なら公平。ただ、突然とることを許可してもらえたらいいなと思う。自分の部下だったら許可する。
- ・「生理休暇」だと生理期間であることを知られてしまうため抵抗がある。また生理のある女性だけに配慮することになるので、年齢や性別に関係なく年次休暇とは別の病欠制度があれば、周りの目を気にせずに生理休暇を取りやすいと思う。

(11) 女性の健康に配慮した取組みを行う企業の印象について

問23.

女性の健康に配慮した取組みを企業が実施する場合、その企業に対する印象は良くなると思いますか。(回答は1つ)

「とても良くなると思う」が38.5%、「良くなると思う」が48.3%で、合わせて86.8%である。

